

地域における公益的な取組

~閉じこもり予防・健康支援~

社会福祉法人 名栗園 高齢者福祉施設やしお苑





基本理念 「人を人として介護する」

特別養護老人ホーム 総合ケアセンター太行路 (飯能市)

あしかり園 (飯能市)

高齢者福祉施設やしお苑(八潮市)

総合ケアセンターリバー・イン (川口市)

ケアセンター岩槻名栗園(さいたま市)

養護老人ホーム 高齢者福祉施設敬愛園 (飯能市)

軽費老人ホーム シルバーハウス希望の園 (飯能市)

通所介護 太行路 (飯能市) 無門関 (飯能市) 敬愛園 (飯能市)

やしお苑(八潮市) リバー・イン(川口市) 岩槻名栗園(さいたま市)

居宅介護支援 介護相談室名栗園 (飯能市) 介護相談室太行路 (飯能市)

介護相談室やしお苑 (八潮市) 介護相談室リバー・イン (川口市)

介護相談室岩槻名栗園 (さいたま市)

地域包括支援センター飯能市地域包括支援センターいなり町 (飯能市) 八潮市東部地域包括支援センターやしお苑 (八潮市)





2017年(H29年)10月~ 名栗園自主事業として 再スタート♪

もともとは、埼玉県の介護予防・閉じこもり予防事業として2013年 (H25年) 7月~埼玉県の各市町村と地域包括支援センターや協力店舗で開始

県の事業がH29年に終了









社会福祉法人 名栗園



埼玉県 介護予防事業「コバトンお達者倶楽部」



高齢者の「閉じこもり」を防止する きっかけづくりとして、気軽に目標 をもって外出し、健康づくりに取り 組める仕組み

> H25.7月にスタート H29.12月に終了



しかしながら、コバトンお達者倶楽部は平成29年12月で終了。 参加されていた高齢者の方々からは

「コバトンお達者倶楽部がなくならないでほしい」

「続けてほしい」

と継続の希望が多数寄せられた



地域貢献活動として やしお苑独自で事業を継続



「はなもも倶楽部」





- ▶ 目的 ①外出するきっかけづくり、地域の高齢者の心身の活性化
 - ②困った時に気軽に相談ができる場所として認知をしてもらう
 - ③施設のPR
- ▶ 期間 平成29年10月1日~ (コバトンお達者倶楽部のカードが9月30日で終了)
- ▶ 対象者 「高齢者」として、おおむね65以上の方 (あえて年齢では区切らない)



- ▶ 内容 ①参加希望者に対してスタンプカードを発行
 - ②来苑した際に、1日1個を限度にスタンプを押す
 - ③開始日より3ヶ月以内に10個スタンプを集めた場合にプレゼントをお渡し(※おみくじをひいてもらう)

▶広報

地域包括支援センターと連携した広報活動









実績(延べ人数)

(2017年度)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
186名	362名	357名	320名	363名	355名	1943名

(2018年度)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3984	377名	313名	287名	240名	285名	396名	395名	365名	371名	349名	333名	4109名

(2019年度)

(=0.0												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
357名	347名	342名	333名	292名	290名	329名	380名	409名	385名	376名	354名	4194名

(2020年度)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
299名	338名	272名	295名	208名	252名	278名	336名	311名	174名			2763名

※コロナのため 2021.1.20より中止









※コロナのため 2021.1.20より中止

実績(延べ人数)

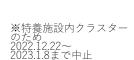
※感染症法5類へ移行 後の2022.6.16より再開

(2021年度)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計

(2022年度)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		41名	82名	79名	76名	109名	117名	93名	59名	102名	119名	877名



(2023年度)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
118名	105名	105名	73名	58名	55名	61名	62名					637名

再開後、以前より参加者は少なくなったが、雨や雪の日を除いてほぼ毎日、 施設には地域の方が訪れ、お水を飲まれたり、話しをされています。



社会福祉法人



▶ 効果 参加者からの声

- ①「ウォーキングになりいい運動になる」
- ②「はげみがないと出かけないので、良いきっかけになった」
- ③「歩くことが習慣になり、駅の方まで買い物に足を

のばすようになった|



- 閉じこもり防止、高齢者の心身の活性化
- 施設(相談先)を知っていただくきっかけ



- ▶ 効果 一日に2~3度も来苑する認知症の疑いのある参加者
 - ➡ 早期に発見し、地域包括支援センターとの連携 見守り活動の一つ 家族との連携
- 今後の展望

近隣の施設や商店等の協力を依頼

地域の商店等の活性化

施設が地域の方とのつながりができるきっかけになる





「地域における公益的な取組」は社会福祉法人の 使命です。

地域福祉の増進には、地域の方々の理解・協力が 不可欠となります。その拠点に施設がなれるよう、 今後も務めてまいります。

多様化する生活課題に対応し、地域から信頼される 社会福祉法人として、「公益性」「継続性」「透明 性」「機動性」を重視し、より良い地域社会づくりに 貢献してまいります。